

2.10.31  
1.164

寫

勞秘第二七五五號

昭和二年十月二十八日

警視總監 宮田光雄

内務大臣 鈴木喜三郎 殿  
社會局 長官 殿  
北海道 京都 大阪 神奈川  
兵庫 愛知 静岡 福岡  
各廳 府 縣 長官 殿

松岡莫大小商店労働争議ニ關スル件  
(第五報)

要旨  
工場主態度依然強硬ニシテ争議回ト會見セズ一般回員漸ク倦怠シ  
感シ幹部其引締ニ腐心ス争議批判演說會ヲ開催モ解散ヲ命ゼル

労働者のクンシヨウ同情と團結でなくさめませう。  
必死たいごんのお父さんは長い間の病氣で瘦死の状態におつたことは争議者からか  
つてゐた然し彼等の手紙電報に據しても争議團の結束を亂すはこれ戦傷に於ける  
兵士のつとめではないと心に泣きながら各りく争議團本部に附いた。誰かこの真心ある行為  
に泣かない者でありませう。  
とうく死んだ部は據して長野の故郷になき父をもうでた。  
ブルジョアの戦争で死んだ兵士にはた、一つのクンシヨウと涙を流して清まつたプロレタリ  
ア(労働者)の戦争でプロレタリアの兵士の一派な行動は同じ兄弟姉妹の美しい同  
情の涙かクンシヨウシヨウだ。  
一〇、二  
松岡工場 争議團 ニエース